

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 土木部 都市計画課長 西村成人 電話番号 0852-22-5209

事務事業の名称	都市公園整備事業	
目的	(1) 対象	都市公園利用者
	(2) 意図	県民のスポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等となるよう公園整備を進め、県民の健康増進や憩いの場、交流の場を提供する。
事業概要	安全で快適な緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな県民生活の実現を図るため、都市公園法（昭和31年法律第79号）第2条第1項第1号に規定する都市公園の整備等を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公園利用者数	目標値		139.0	139.0	139.0	139.0	万人
	式・定義 公園利用者数	取組目標値						
			実績値	145.4	139.2	132.9		
		達成率	-	100.2	95.7	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
			実績値					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	175,046	574,201
うち一般財源 (千円)	6,692	22,242

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成29年度の県立都市公園の利用者数は132.9万人であり、アクアスのシロイルカプールの改修で石見海浜公園の利用客が減ったもので、他の公園は前年度に比べ3.0%(2.3万人)の伸びとなった。
- 第1種公認陸上競技場の公認維持のため、定期的に多額の費用が必要で大きな負担となっている。
- 施設の老朽化等に対し、利用者からの苦情や要望が多いものの、十分な予算の配分ができず対応ができていない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 浜山公園においては、駐輪場の整備を行った。
- 石見海浜公園においては、はっしータワー改修（桁カバー）実施した。
- 万葉公園においては、園路補修を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 浜山公園の運動施設については、規則改正等に適合するための対応が優先となり、大きな負担となって老朽化、陳腐化が進行している施設に関する苦情・要望に対応できていない。
- 老朽化・陳腐化が進行している公園施設（遊具等）に関する苦情・要望に対応できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 計画的な施設修繕・改修を行っているが、量的に対応が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- 施設修繕・改修量の確保。
- 限られた予算の中で利用者の満足度を向上させるきめ細かな対応。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 長期的な予算確保を計画的に取組む。
- 施設修繕・改修や維持・管理水準について利用者や体育協会など関係団体の意見を聞いて、計画的・効果的な改善策を検討する。
- 公園施設長寿命化計画に基づきより効率的な維持・管理とともに、適正な管理水準について検討を行う。